

令和4年度 主な自殺対策事業一覧

資料 2

県自殺対策計画項目		実施者	事業名・事業概要	予算額(千円)	R3年度実績
事前対応	各種相談の充実・強化	県実施	○ 「こころ・いのちの電話」運営事業 心の悩みや自殺に関する電話相談窓口を設け、相談対応 R3年6月より、24時間365日対応に拡充	24,500	・相談件数 計5,840件 (R2年度 計2,782件)
		民間団体	○ 電話相談体制強化事業 休日・夜間の電話相談等を実施する民間団体へ補助 (NPO法人 富山カウンセリングセンター) 毎日16:00～23:00(受付は22:30まで)	3,000	・相談件数 計2,756件 (R2年度 計2,259件)
	正しい知識の普及啓発	県実施	○ 自殺予防対策普及啓発事業 自殺予防週間における街頭啓発の実施、普及啓発HP「タッチハート」運営	610	・9月:啓発チラシ入りポケットティッシュ 10,000部作成 ・2月～3月:薬局及びコンビニエンスストアにポスター、チラシの掲示
		県実施	○ アルコール関連問題啓発 アルコール関連問題啓発週間に合わせて街頭啓発等を実施	100	・11月:啓発用メモ帳3,000個作成
		県実施	○ 新入社員を対象とした精神障害普及啓発冊子製作事業 健康問題や勤務問題原因とする自殺リスクを抱える可能性のある新入社員を対象に、うつ病等の精神障害について「漫画」によって分かりやすく紹介し、正しい知識を普及啓発する。	900	・7,000部増刷し、商工会議所等を通じて県内企業に入社する新入社員等に配布。
県実施	○ ゲートキーパー養成強化事業 中小企業や大学等に専門家(臨床心理士等)を派遣し、メンタルヘルス担当者、従業員、学生等を対象とした出前講座を実施	900	・開催回数19回 ・参加人数 計569名 (R2年度 10回開催、329名参加)		
危機対応	専門機関における相談・支援体制の充実、連携強化	県実施	○ かかりつけ医うつ病対応力向上研修 かかりつけ医へのうつ病の知識習得等の研修を実施(県医師会委託)	459	・開催回数1回(R4.2.20) ・参加者数 計54名(医師等) (R2年度60名) 演題:「産後うつ病について」
		県実施	○ かかりつけ薬局自殺対策推進事業 薬剤師を対象とした自殺対策のための研修会を開催し、過量服薬等、自殺リスク者の効果的な発見・対策を推進	300	・開催回数1回(R3.10.14) ・参加者数 計139名(薬局薬剤師) (R2年度157名) 演題:「アルコール依存症に合併する気分障害」
	危機介入のための取り組み	県実施	○ 自殺対策におけるデジタル広告活用事業 県内で「死にたい」等とGoogle及びTwitterで検索した者に、県の自殺対策ホームページ「タッチハート」の広告を検索結果画面の上段に表示し、タッチハートに誘導する。	4,000	・令和3年度 通年実施(Googleのみ) 表示回数 359,372回 クリック数 29,736回 クリック率 8.27% (令和2年度 計6ヶ月間実施)
事後対応	県実施	○ 自死遺族支援事業 心の健康センターにおいて、精神科医等による自死遺族を対象としたカウンセリングや支援を実施	300	・開催回数 年22回 ・相談対応人数 延べ34名 (R2年度 年23回開催、延べ39名対応)	
事前対応の更に前段階			○ SOSの出し方に関する教育 各学校において「困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等における対処の仕方を身に付けるための教育」(SOSの出し方に関する教育)を推進	-	・各種研修会等で「SOSの出し方に関する教育」の実施を依頼。 ・全校集会等でSC等の専門家を講師として「SOSの出し方に関する教育」を実施。
	市町村		○ 地域自殺対策推進強化事業(市町村補助) 市町村が行う地域自殺対策推進強化事業へ補助	10,000	・15市町村へ補助 (R2年度 15市町村へ補助)
	民間団体		○ 自殺対策民間団体等取組強化事業 行政等を補完し、自殺予防に資する民間団体の活動へ補助(公募) ①一般枠:傾聴、相談対応等 ②高リスク者対策枠:未遂者対策 ③特別枠:広く一般県民を対象とした人材養成研修 ④若者対策枠:若年層を対象とした相談、人材育成、普及啓発等	4,900	・17団体へ補助 (R2年度 12団体へ補助)